

「電子タグ(RFID)利活用研究フォーラム」を開催

～交通業界、アパレル業界におけるRFID利活用の現状と展望を紹介～



主催者挨拶
林無線通信部長



講演Ⅰ
西日本旅客鉄道株式会社 木村氏



講演Ⅱ 日本アパレル・ファッション産業協会 山口氏



会場模様



RFID利活用事例を
ビデオにより紹介



中国総合通信局(局長 齊藤一雅)では、平成25年11月13日、広島県福山市において、「電子タグ(RFID)利活用研究フォーラム」を関係団体との共催により開催しました。

本フォーラムでは、いわゆる電子タグが、身近にかつ日常的にも欠かせないツールとなっていることから、その動向と今後のビジネス展開、最新の電子タグシステムをご紹介しました。

講演ではまず、交通業界から、西日本旅客鉄道株式会社の木村和昭氏(※1)による「交通系ICカード「ICOCA」の現状について」と題して、ICカードの導入までの経過と、現在では8,800万枚にもものぼるICカードは、多くの公共交通機関で共通利用が進んでいるのみならず、スーパーマーケット等へ拡大も始まっている等の利用状況と、カード利用から得られる様々なデータ活用の課題について紹介がありました。

続いて、アパレル業界から、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会事務局の山口賢史氏(※2)から、「ファッション業界における生産性向上のための新しい取組み」と題して、国内外におけるRFIDの活用事例をもとに、いよいよ小売り分野でも急速に普及しようとしている現状と、ユーザーである企業は、自らの価値を高めるための購買プロセスの分析などにRFIDデータの活用が必要と説明されました。

本フォーラムには、関係業界を中心に71名の参加があり、今後の電子タグの利活用に向けた積極的な質問のやりとりなど、関係業界のビジネスチャンスにつながる話題豊富なフォーラムとなりました。

中国総合通信局では、今後も管内各地でICT利活用に関するセミナー等に取り組んでまいります。

※1: 鉄道本部営業本部担当部長

※2: 日鉄住金物産株式会社繊維事業本部SCM・事業開発部事業開発第一課主事



閉会挨拶
中国電子タグ(RFID)利活用研究会
桑田会長

お問い合わせ先
無線通信部企画調整課 082-222-3355